

「Voice to our future」 

平成28年度

第4回市民討議会実施報告書



Voice of ちとせ

第4回 千歳市民討議会

「みんなで話そう!次世代を育むための道」

千歳市民討議会実行委員会

0. 目次

1. はじめに

- (1) 実行委員長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- (2) 市民討議会とは・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

2. 平成28年度 Voice of ちとせ 「第4回千歳市民討議会」の実施について

- (1) 市民討議会実施に至る背景（プロセス）・・・・・・・・ 3
- (2) 千歳市民討議会実行委員会による企画・運営・・・・ 3
- (3) Voice of ちとせ「第4回千歳市民討議会」実施の目的・・・・ 5
- (4) Voice of ちとせ「第4回千歳市民討議会」概要・・・・ 5
- (5) 第4回千歳市民討議会 討議方法・・・・・・・・・・・・ 6
- (6) 当日のタイムスケジュール・・・・・・・・・・・・・・ 7
- (7) 討議内容と流れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- (8) 各グループで出された意見や討議内容・・・・・・・・ 10

3. 千歳市民討議会の提言

- (1) 第4回千歳市民討議会投票結果・・・・・・・・・・・・ 21
- (2) 提言・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
- (3) 討議会アンケート結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

4. 資料

- (1) 第4回千歳市民討議会ポスター・・・・・・・・・・・・ 33
- (2) ポスター掲示依頼文・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
- (3) 市民討議会開催のご案内・・・・・・・・・・・・・・ 35
- (4) 参加決定通知書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
- (5) 広報掲載記事・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
- (6) 当日の様子・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
- (7) 千歳市民討議会実行委員会諸会議一覧・・・・・・・・ 43

5. おわりに

- 一般社団法人千歳青年会議所 市民力推進委員会委員長 挨拶・・・・・・・・ 46

はじめに

(1) 実行委員長挨拶

千歳市民討議会報告書を発刊するにあたり実行委員会を代表いたしましてご挨拶申し上げます。
本年度実施いたしました第4回千歳市民討議会は、2013年に第1回目を開催して以来、一般社団法人千歳青年会議所と千歳市民討議会へご参加いただいた市民の有志により組織された千歳市民討議会実行員会により実施、運営を行いました。討議会を通じてまちに住まう市民自らが千歳市のまちづくりについての議論を熱く交わし、まちの未来を考え行動するのは市民自らであることを意識喚起した場として開催いたしました。今後も輝かしいまち千歳の創造に向けて活動して参ります。そして、本報告書が千歳のまちづくり政策の一助として活用されることを願います。

末筆となりましたが、本当議会開催に際しましてご参加いただきました皆様と関係各位にご支援、ご協力をいただきましたことに対しまして、心からのお礼を申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

千歳市民討議会実行委員会 実行委員長
一般社団法人千歳青年会議所 理事長
中山 千太郎

(2) 市民討議会とは

市民討議会とは、無作為抽出による市民が集まり、まちづくりに関するテーマについて情報提供を受けた上で話し合い、そこで出された意見を集約してまちづくりに活かす市民参加手法のひとつです。ドイツの住民自治手法である「プラーヌクスツェレ」を日本風にアレンジして取り入れたものであり、日本青年会議所が日本に紹介し、2005年に東京で実施されて以来、各地に広まっています。

各種の審議会や公聴会、タウンミーティング等の市民参加手法では、行政が出席依頼した各種団体や自治会の役員など、いつも決まった顔ぶれである場合が多いのに対し、市民討議会は、サラリーマンや主婦、学生など意見を表明したくてもなかなか出来ない人たち(サイレントマジョリティ)の意見を吸い上げることができます。

そこで、普段声を発する機会の少ない市民が千歳のまちづくりに参加するきっかけをつくり、市民参加・市民協働によるまちづくりを推進することを目的として、千歳青年会議所は、千歳市民討議会を開催することとしました。

※『プラーヌクスツェレ』の定義

無作為抽出で選ばれ、限られた期間、有償で、日々の労働から解放され進行役のアシストを受けつつ、事前に与えられた解決可能な計画に関する課題に取り組む市民グループである。

2、平成28年度 Voice of ちとせ 「第4回千歳市民討議会」の実施について

(1) 市民討議会実施に至る背景（プロセス）

～市民主導のまちづくりへ向けて～

近年、真に自立したまちの構築を掲げ、中央集権型社会から地方分権型社会へと移行しつつある中、これら地方自治をめぐる動きに対して、基礎自治体である市町村は、限られた財源で多くの課題に取り組まなければならないため、厳しい行政運営を迫られています。このような状況である今こそ、地方自治体の独創的なあり方が問われ、独自財源の確保、地域に適した自治の手法の構築が最重要課題となっています。また、行政サービスの受け手であった住民の意識や行動も問われています。

今日、「市民参加」「市民協働」がいたるところの自治体で言われていますが「民主主義」が市民、住民を主人公としているため、「市民の声を聞く」とは当たり前のことですが、現在は住民の声を施策に活かすため、市民アンケートやヒアリング、政策公募、タウンミーティングや市民会議などに取り組んでいます。しかし、これらに参加する住民は、それぞれの分野に興味をもち、時間的にも比較的余裕のある限られた住民が多いことが想定され、限られた参加者により意見が集約されるのではないかと懸念もあります。そこで、社会全体の市民、無関心層やサイレントマジョリティ（物言わぬ大衆）といった多くの市民を取り込んだ真の市民自治による協働のまちづくりをさらに推進していくため、市民参加の新たな手法に取り組んでいく必要があると考えます。

(2) 千歳市民討議会実行委員会による企画・運営

目 的

千歳市民自らが、市民討議会を通じて、まちづくりに関心の無い人、もしくは関わりを持つことが出来なかった市民へまちづくりの機会を創出し、自身の住む地域を良くするという当事者意識を醸成し「市民主導型社会」を構築し、明るい豊かなまち千歳の創造のため、千歳市民討議会の企画・実施・運営を目的とする。

実行委員会メンバー構成

千歳市民討議会を運営するにあたり、千歳青年会議所のメンバーと千歳市民討議会に参加された市民の有志によって構成されます。

実行委員長には千歳青年会議所理事長が就任し、副実行委員長に千歳市民からの有志1名と千歳青年会議所の所管する理事が1名配置することとなっています。

2016年度 千歳市民討議会実行委員会

No.	役職	所属	名前
1		市民	浅井 孝行
2		市民	芦高 秀知
3		市民	石井 潤
4		市民	石川 久雄
5		市民	小山内 栄子
6		千歳 JC 副理事長	大宮 裕輔
7	副実行委員長	千歳 JC 担当委員長	加藤 寛志
8	副実行委員長	市民	川口 敏夫
9	事務局長	千歳 JC 担当副委員長	木村 利貴
10		千歳 JC 担当委員長	木本 幹二
11		市民	榊原 達也
12		千歳 JC 担当委員	坂口 直希
13		市民	佐々木 浩
14		市民	末村 友幸
15		市民	高遠 修一
16		千歳 JC 専務理事	瀧 雄一
17		市民	田代 京子
18	実行委員長	千歳 JC 理事長	中山 千太郎
19		市民	中村 千江子
20		千歳 JC 担当委員	沼田 大喜
21		市民	野長瀬 妙子
22	事務局次長	市民	秦 由基
23		千歳 JC 担当委員	林 愛
24		千歳 JC 担当委員	深谷 信之
25		千歳 JC 担当委員	藤野 マキ
26		市民	藤村 委枝
27		市民	松倉 美加
28		市民	松田 隼人
29		市民	吉川 政二

※五十音順

※JC=千歳青年会議所

(3) Voice of ちとせ「第4回千歳市民討議会」実施の目的

千歳市は市民の平均年齢が若く、北海道内においても人口が増加し発展し続けている数少ないまちです。しかし、市民アンケートの調査結果からもわかるように、多くの市民が自ら住まうまちに対する関心が薄く、まちづくりを自らの事と考える意識は決して高くありません。次世代が志を高く持ちまちに対し愛着を持たなければ、そのまちは衰退の道をたどってしまいます。そうならないために千歳市民のまちに対する意識を高めるとともに、志高い市民を多くしていくことが更なるまちの発展のために必要な第一歩となります。

そのためには、若い世代をはじめとする多くの市民が明るい未来を想像し、今、自らが向き合うべき問題に対し世代を超えて積極的に意見を語り合う事でまちづくりへの意識を向上させることが必要です。

(4) Voice of ちとせ 「第4回千歳市民討議会」概要

- 事業名 Voice of ちとせ 第4回千歳市民討議会
「～みんなで話そう！次世代を育むための道～」
- 運営形態 主催：千歳市民討議会実行委員会
- 開催場所 千歳公民館 2階大集会室
- 参加者 41人（18歳から60歳までの一般市民）
- 参加者抽出 18歳から60歳までの男女2,500人を無作為抽出し、参加依頼書を送付。
53人から応募があり、53人の方に参加通知書を送付しました。
（事前連絡による欠席 8名）
（当日欠席 8名）
（追加参加 4名）
（途中より退席 1名）
- 討議テーマ ～住みたいまち、住み続けたいまち、暮らしやすいまちを目指して～
子育て支援について
- 情報提供 千歳市役所 千歳市保健福祉部より情報提供
情報提供内容 千歳市の子育て支援の現状及び施策について
- 討議進行 【少人数のワークショップ形式によるグループ討議】
 - ① 参加者を討議グループ（1グループにつき5～6人のグループ）に分けさせて頂きました。
 - ② グループごとに、テーマに関するグループディスカッションを行い、グループとしての意見を集約致しました。
 - ③ グループで集約した意見を発表したのち、もっとも賛同できる意見に対して参加者に投票をして頂きました。

(5) Voice of ちとせ 「第4回千歳市民討議会」の討議方法

～プランクツェレとの比較で～

第4回千歳市民討議会は、ドイツの市民参加の手法である「プランクツェレ（注）」に学びながらも、千歳市で実施するにあたり、千歳市民討議会実行委員会にて独自に再構築し、様々な創意工夫を行いました。

～話し合いの方法～

話し合いは、プランクツェレとほぼ同様の手法で行われました。その特徴の第1点目は、1グループ5人～6人単位で、全部で9グループが同時に話し合いを進めたことです。少人数での話し合いでは、グループ内全ての人が発言する機会があります。

第2点目は、各グループの代表により発表が行われ、全体の意見の傾向を見るために、グループごとにまとめた個々の意見に対して、参加者が投票を行うことで、参加者全体の意見の共有に努めます。

(注)：解説：プランクツェレ とは・・・

プランクツェレ（独：Planungszelle：計画細胞）は、ペーター・C・ディーネル ドイツ・ヴパタル大学名誉教授により1970年代に考案された市民参加の手法です。ドイツでは、1990年のドイツ統一後、地方公共団体において住民投票制度が導入されていったことに伴い、直接民主主義に対する認識が高まりました。このような潮流の中で、市民参加の手法の一つとしてプランクツェレが注目されました。現在はスペインやオランダなどでも取り組みがなされています。他の市民参加の手法に比べてコストがかかる点と開催の準備や最終報告に時間がかかる点に問題があるものの、サイレントマジョリティと呼ばれる一般の市民の声なき声を抽出する方法としてきわめて有効であると評価されています。

★定義

『プランクツェレは、無作為抽出で選ばれ、限られた期間、有償で、日々の労働から解放され、進行役のアシストを受けつつ、事前に与えられた解決可能な計画に関する課題に取り組む市民グループである』～「プランクツェレ（ディーネル教授 著）」より～

★主な特徴（ドイツ型）

- 1 話し合いへの参加者を無作為抽出で選ぶ。
- 2 参加者に謝礼を払う。
- 3 参加者だけで話し合いを行い、全体で投票を行う。
- 4 各話し合いの前に現状や課題などの情報提供を行う。
- 5 まとまった結果を市民答申として公表する。

(6) 当日のタイムスケジュール

Voice of ちとせ 第4回千歳市民討議会

テーマ： 「～みんなで話そう！次世代を育む道～」

会場： 千歳公民館 2階 大集会室

時 間	内 容
09:00	受付開始
09:30	開会宣言
09:31	主催者挨拶
09:36	趣旨説明
09:40	討議進行の説明
10:00	情報提供 【子育て支援について】 “子育てするなら、千歳市”の取り組みについて 情報提供者：千歳市保健福祉部子育て支援室 こども政策課長 船着 卓也 様 “子育てするなら、千歳市”の具体的な個別事業について 情報提供者：千歳市保健福祉部子育て支援室 こども政策課こども政策係長 石澤 敦 様
10:40	休憩
10:50	討議開始
12:10	中間発表
12:30	昼食休憩
13:30	情報提供者による感想
13:40	討議
15:00	休憩
15:10	発表
15:50	投票
16:05	アンケート記入
16:10	お礼の言葉
16:15	結果発表
16:20	記念撮影
16:30	解散

(7) 討議内容の流れ

【討議テーマ】

子育て支援について

～重要性～

千歳市は、全国的に人口が減少する中において増加を続けている数少ないまちであり、全道一平均年齢が若いまちでもあります。千歳市でも27年7月には「千歳市移住・定住促進プロジェクト」を、今年度は「千歳市人口ビジョン・総合戦略」策定し、平成32年度の目標人口9万7千人を掲げ、その達成を目指して定住促進に向けた施策を進めており、今後も活力ある持続可能なまちづくりを進める上で、若い人にまちづくりへの関心を高めることが不可欠です。

定住促進の中でも、子育てに関しては重要な位置にあり、新生児出生による純粋な人口増に注力しています。千歳は現在、多くの子育て支援を行っており、各地からも視察に来るほどの先進的な取り組みを行っています。

更なる千歳の発展のために定住促進のための多くの子育て支援事業を更に良い方向へ伸ばしていくにはどうしたら良いか、我々市民がどのように関与していくべきかを考えることがこれからの発展の為に必要なことと考えます。

～活発な議論～

子育て、次世代に関することは我々青年世代にとって、そして青年世代の親にあたる老年世代にとっても大切な事です。これからの日本を背負っていく子供たちに関する問題はすべての世代にとって大切なことであることから、多くの意見が出て活発な議論がされることが予想されます。

～行政への政策反映～

子育て支援に関しては千歳市の定住促進の問題の一つとして取り上げられている事であり、千歳市の振興プランに討議会からの提言が反映されやすいことから討議会テーマとして必要性があると考えます。

1、情報提供

基礎知識のない方でも公平に討議に参加できるように討議する内容に対して、現状の状況や仕組みなど討議を進めていく為に必要な情報を説明いたします。

2、討議

① 自己紹介

テーブル内で簡単な自己紹介を各自行っていただきます。

② 討議、話し合い、付箋への書き出し

討議、話し合いをしながら、できるだけたくさんの建設的なアイデアや意見を付箋へ書き出し、討議ボードへ貼り付けていきます。

③ 書き出した付箋のグループ分け、提案内容のまとめ

書き出した内容を似たものに分けていきます、分けられたアイデアをより良い課題解決へ向けて、テーブルで討議していきます。討議のアイデアを3つに集約し、わかりやすく討議ボードのまとめ欄へ記入していきます。

3、テーブル発表

テーブル内で、はじめに役割を決定し、決定した発表者によってテーブルごとにまとめた3つの意見を順にテーブル発表を行う。

4、全体投票

全ての発表を終えた後、討議ボードを前面に貼りだし、他のテーブルも含め全てのまとめの中から、自分が良いと思ったアイデアに各自が投票する。

※一人持ち票を5票とし、一つのまとめに対して最大3票まで投票出来ます。

以上ここまでのサイクルを一つの討議とします。

【討議をしていくためのルール】

- ① 自分だけが話すのではなく、周りの意見もちゃんと最後まで聞くこと。
- ② 周りで出た意見や質問やアイデアに対して頭から否定するようなことは絶対にしないこと。
- ③ 周りや、行政、その他団体等関係者に対して中傷するような言動は絶対にしないこと。
- ④ 誰かに「要求するだけ」といったようなものではなく、討議のテーマに対して、あくまで建設的な考え、意見やアイデアを出していくように心がけること。
- ⑤ 討議の最中は楽しい雰囲気大切にすること。

(8) 各グループで出された意見や討議の内容

討議テーマ 子育て支援について

【Aグループ 討議内容】

テーマ 「子育て支援」について	グループA	
<ul style="list-style-type: none"> ・ケータイを使ったコンテンツでもう少しアクセスしやすくするといいいのでは。アプリを使うとか。 ・子育てコンシェルジュとの面談は8回以降ほったらかし。 ・市では一生懸命政策を立てているが、あくまでも計画だけで実際はズれている部分が多々ある。 ・救急車に新生児搬送資器材はどうしているのか。 ・公園の遊具がこわれたままになっていてなかなか直されてない。市に申し込んでも、一生懸命頑張っている割には在庫が遅い。 ・冬は家にこもりがち。バスの路線拡大、アパートの一室を解放などすれば良いのではないか。 ・楽しい所が無い。 ・学生が場所が無い。 ・車が無いと大変。 ・公共の場所がかたまってなく不便。 ・保育料を第2子半額、第3子無料に。 ・妊娠検診の負担が大きい。補助金を増加、または検診自体の無償化。 ・町内会、主婦（町内）の協力はしたら良いのか。町内会が繁栄していない。民生委員、児童委員に任せっぱなし。 ・子育て支援センター、児童館等の活動が情報発信されていないのではないか。 ・子育てイベントを休日にもっと増やしてほしい。仕事をしていると市の子育て事業の恩恵を受けられない。 ・学童、ランドセル来館の児童への定期的な講座開設。ママ講師や民間事業。 ・地域の高齢者、中高生、小学生とふれあう機会がほしい。子育ての漠然としたビジョンが立てられる。頼れる人が見つかるかも知れない。 ・不妊治療院の助成はいくらまで上限があるのか。 ・地域に産科、婦人科、女性専門外来のある医療機関を聞いた事がない。 ・交通費がかかりすぎて若い人が子育てするのにお金がかかって大変だと思います。 ・市民税が高い。 ・家賃が高い。 ・市役所の方が個々で対応が違う。 ・高齢出産等や未熟児出産に対応出来るNICUがあるのか分からない。 ・防犯が悪い。駅に交番があるが、高架下で被害があるから交番をずらせば良い。 ・税金をもっと子育てに充てる。（ドクターヘリ、救急車、NICU） 		
<ul style="list-style-type: none"> ・産婦人科・小児科の充実（補助金・医療器具含む）。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・税金を子どもの未来に投資しましょう！ 		
まとめ①	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会館の定期的な解放（世代間交流及び子育て世代の町内会による地域コミュニティの確保）。 	8票
まとめ②	<ul style="list-style-type: none"> ・医療費の助成・医療行為・器具の充実（妊娠検診助成の増額、施設・往診等の充実、優秀な医師の確保）。 	6票
まとめ③	<ul style="list-style-type: none"> ・市専用のアプリ開設（子育てQ&A、コンシェルジュの対応、市民からの提言窓口の設置、市からの情報提供、手続き等）。 	4票
私達にできる事	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティへの積極的な参加と意見提供（あいさつ、友達作り、見守り）。 	
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの路線増加による子育て世代の孤立化を避ける。 ・冬季の室内遊び場の確保（公共施設、デパート、アパートの一室の開放、イベント実施）。 	

【Bグループ 討議内容】

テーマ 「子育て支援」について	グループB	
<ul style="list-style-type: none"> • 子育てガイドの配付対象が決まっているのか。子育てが終わっている世帯にも（全世帯に）周知されているか。 • 情報の共有について。転入者に対するパンフ等の配付は行っているのか。周知方法はどのようにしているのか。 • 子育てが終わって、子育てに協力しても良い年齢になったが、自分に出来る事、市の事業、要求資格等の情報が分からない。 • 市の窓口での対応が、いわゆるたらい回しにされる事がある。 • 待機児童への情報が少ない。 • 保育園の設置の説明がなく、どんな設置なのか分からない。 • お産する病院は、充分なのか。「いいお産」で絵に描いたもちになっていないか。 • 児童の医療費負担免除。 • 不登校児童を救え。 • 給食費を払わない親ネグレクト（育児放棄）。 • 高校生独自の施設があっても良いのではないか。習い事お金かかりすぎ。 • 市で所有するバスをスポーツ団体（市内限定）等に貸与システムを作る。 • 向陽台のバス時間がかかりすぎる。 • 町内会館の有効活用、井戸端会議、居場所を作る。 • W I F I 環境 • 子供食堂、子供もお年寄りも誰でも行ける食堂。 • 学習チャレンジのスポーツ版を作ってほしい。 		
<ul style="list-style-type: none"> • 情報が少ない。 		
<ul style="list-style-type: none"> • 産科の充実化 		
<ul style="list-style-type: none"> • 地域活動の活性化 		
まとめ①	<ul style="list-style-type: none"> • 市民参加型の広報活動。（MAPを作る、FACEBOOK、QRコードを入れる、フリーペーパーの活用、見やすいHP） 	7票
まとめ②	<ul style="list-style-type: none"> • ロゴマークを使う。（カントリーサインに使う、PR動画をYOUTUBEで流す） 	4票
まとめ③	<ul style="list-style-type: none"> • 居場所を作る。（町内会館の有効活用、子供～高齢者まで来られるコミュニティ、AM9：00～PM5：00いつでも空いているような） 	14票
私達にできる事	<ul style="list-style-type: none"> • 井戸端会議から始まる積極的な市民討議会の実施。目標早期の市民ベース。 	
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> • 安心して産める産科病院の充実。 	

【Cグループ 討議内容】

テーマ 「子育て支援」について	グループC	
<ul style="list-style-type: none"> ・施策をどのように市民に知らせるか。メディア（テレビ、冊子、チラシ、PR、ラジオ）を使ったPR。 ・コンシェルジュの存在をあまり知らない。こども園の日程（行事など）がよくわからない。 ・産後の女性の就労支援がどういうものがあるのかわからない。 ・市民病院の内科、小児科を土曜日あけてほしい。 ・千歳の産婦人科と小児科の充実。産婦人科は増やしてほしい。小児科は土曜日もやってほしいです。 ・子供の医療費を無料にしてほしい（せめて中学生まで）。 ・放課後の小学校を開放してほしい。遊び場が少ない。 ・千歳に長く住み続けるために、子供にもお年寄りにもやさしい街にしたいです。独立してからの就職先の子供が長く住みたい街をめざす。 ・子供が成長した後、就職を考えると市から出ていかざるを得ない。 ・小中学生の人数のばらつきがひどい。 ・中学生からの支援が手薄い。 ・交通手段がない。 ・向陽台に住んでいるので子供の交通の便が悪くて、せっかくの自然の多い地区なので、高校を立ててほしいです。 ・スクールバスを中学生にもほしい。みどり台など中学校が遠い。 ・千歳の中心（利用しやすい場所）に利用しやすい施設を。 ・市民病院の受付時間の延長（子供～中学生）。 ・空港で「子育てするなら千歳市」のポスター貼り付け、PR。 ・町内会で積極的な子供への行事の開催と呼びかけ。 ・ご老人に習い事を教えてもらう。昔の遊びを、ご老人主体で教えてもらう。 ・ボランティアで老人たちに子供たちをみてもらえないか（町内会で）。 ・子育て家庭へのボランティアによる除雪支援。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援のPRの充実 		
<ul style="list-style-type: none"> ・学校の増設、もしくは交通手段の充実 		
<ul style="list-style-type: none"> ・医療費・小児科・産婦人科の充実 		
まとめ①	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援PRの為空港にポスターの貼り付け、小児科、ちゃんと等にパンフレットを入れる。 	5票
まとめ②	<ul style="list-style-type: none"> ・マンモス校解消の為、学校の増設、もしくは交通手段を充実させる。 	2票
まとめ③	<ul style="list-style-type: none"> ・医療費・小児科・産婦人科の充実。 	2票
私達にできる事	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会の協力により、子供への声掛けや昔の遊び、習い事などのボランティアを行う、子育て家庭へのボランティアによる除雪支援。 	
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・千歳に永く住み続ける為、子供が独立してからの就職先の充実など、子供が永く住みたい街を目指す。 	

【Dグループ 討議内容】

テーマ 「子育て支援」について	グループD	
<ul style="list-style-type: none"> • 子供を遊ばせる場所少ないのでは。中学生・高校生の遊んでいる姿を見ないので遊べる場所、子供連れで行ける飲食店（子供専用スペース有）が少ない。 • イベントが少ない。サークル募集の案内をあまり見ない。子供向けスポーツ習い事の体験会イベントの開催。習い事お金かかる（道具代など）、行政の子供（高校生くらいまで）向けサークル活動支援。 • 転入親子ウェルカム交流ツアーの数を増やしてほしい。ウェルカムツアーをもっと広めてほしい。交流バスツアーの中に体を動かして遊べるもとを含めてみたら良い。例えばボウリングやスポーツ、ふき矢など、準備のないもの。 • 月寒グリーンドームの様な施設やフリマがほしい。 • 専門学校、高校を増やす。学力が中位～高位までの幅の広い学校を増やすと他からも人が集まると思う。 • 市内に公園が多くあるが、緑が多いか疑問。薄暗く、あまり子供が遊んでいない。もう少し整備すべきでは。 • 他の地域に比べて子供の数も多いと思います。特に都市部に比べると、子育てやお子様には手厚いと思います。 • 次世代のお母さん世代である女子高生の意見や企画をしてもらおう。 • 食育に力を入れてほしい。子育てへのお父さん協力アップ。子育てしている人としていない人の交流。子育ての世代間の違いについていけない。 • いろいろな施策を聞きましたが周知されているのか。 • 国でも問題になっていますが、保育士さん（臨時保育士さん含め）の時給、給料をUPするともっと働く保育士さんが増えると思う。 • 車が無いと働く場所まで行けない。 • 仕事・遊びが札幌で、住むのが千歳は問題。 • 駐車場が無い。支笏湖は有料。 • 向陽台に仕事に行くのにバスがない。 		
<ul style="list-style-type: none"> • 町の中に子供が集まる場所（遊び）が少ない。 		
<ul style="list-style-type: none"> • 車が無いと不便（通勤・通学・遊び） 		
まとめ①	<ul style="list-style-type: none"> • 「ちゃんと」や、市でガイドマップを作成する。駐車場・キッズルーム・分煙・ランチ等の割引サービス。 	7票
まとめ②	<ul style="list-style-type: none"> • 人が集まれる図書館を作る（ペウレ）。 	10票
まとめ③	<ul style="list-style-type: none"> • 青葉公園にて夏フェス（野外音楽祭、花火） 	8票
私達にできる事	<ul style="list-style-type: none"> • 市民（有志をつのる）で視察ツアー、他に市民からの情報発信。 	
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> • 北栄緑地が怖いので、アスレチックやツリーハウス、バーベキュー施設、冬は歩くスキー等が出来るようにする 	

【Eグループ 討議内容】

テーマ 「子育て支援」について	グループE	
<ul style="list-style-type: none"> • 町内会の取り組み。 • 公園のトイレが汚くて子供を連れて行きたくない。 • 地域で子育てを支援する工夫が必要。 • 公園って活かされていますか？（使用されているのか？） • 小児科のレベルが低く大変。 • 給食のアレルギー対策。 • 虐待への対応が遅い。 • 子供との外出時間を考えて欲しいです。 • 放置子が多い。 • 子供の減少。 		
<ul style="list-style-type: none"> • 町内会、地域で子供支援の工夫。 • 医療の充実（小児科） • 夜間、長期休みの間、見守り隊の増員。 		
<ul style="list-style-type: none"> • 虐待110番を周知徹底。 • 18歳以上～青年世代が結婚、子育てに興味を持てる社会にする。 • 若い世代が町内会に参加してもらう事が子育て世代への情報発信になるので、若い人の町内会費を無料にするなどの対応を各町内会で考える。 		
まとめ①	<ul style="list-style-type: none"> • 虐待と疑われる子供の発見時には迷わず虐待110番できる環境を作る。 	10票
まとめ②	<ul style="list-style-type: none"> • 18歳以上の青年世代が結婚、子育てに興味を持つことが次世代に繋がるので、その世代を育てる。 	10票
まとめ③	<ul style="list-style-type: none"> • 若い世代が町内会に参加してもらう事が子育て世代への情報発信になるので、若い人は町内会費を無料化するなどの対応を各町内会で考える。回覧板に子育ての情報を載せるなど有効活用する。 	9票
私達にできる事	<ul style="list-style-type: none"> • 今現在、各分野で色々な活動していますが、これからも更に上記の活動をしていきます！ 	
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> • まとめ②の事について、これから討論をしたり、活動していきたい。 	

【Fグループ 討議内容】

テーマ 「子育て支援」について	グループF	
<ul style="list-style-type: none"> • 空港勤務者を始めとしたシフト勤務者も多くいるなか、保育所（こども園）の日曜保育や預かり時間の延長。 • 札幌へ通勤している人がいるので、保育時間の延長。 • ちとせっこどもセンターやげんきっこどもセンターへのアクセスをずっと良くする。 • 施設はあるけれども、利用者への情報や交通の便が悪い。 • 近隣の市と比べて千歳市独自で行っているサポートや支援のアピール。 • 都会みたいに医療費を中学生までタダにして欲しい。 • 情報提供元としてのホームページの充実。 • 市の子育て支援の情報提供の方法。 • 0歳からの子育て支援をする世代は、仕事も共働きが多く、市役所へ関わる時間があまりない。 • (町内会での活動の大切さを重視すべき) 地域で「核」となる人の人間力をもう少し高めるべき。 • 地域アドバイザーである「力」を活かすべきだが、それが活かしきれていない。若いお母さん、子供の問題をしっかり拾えるかどうか。沢山の情報が市民に伝わりづらい。 • 年齢の違いにより子供のつながりが無い。 • 町内の子供行事を盛んに。 • 近所の交流場を増やす。 		
まとめ①	<ul style="list-style-type: none"> • ホームページが見にくいので、外部委託する。高校や技術大学等に授業の一環として作成を依頼する。 	12票
まとめ②	<ul style="list-style-type: none"> • バス路線の見直し。アクセスの良い所に施設を集める（中心街の空ビル施設活用） 	12票
まとめ③	<ul style="list-style-type: none"> • 保育士の増員。育児休業をしっかりと取らせる為の企業支援。 	5票
私達にできる事	<ul style="list-style-type: none"> • 若い子育て世代に地域活動に参加してもらって町内会予算を子育て世代にも平等に分配する。 	
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> • 地域全体の子育て力向上のため、ちとせ版ネウボラに地域ネウボラを構築する。 	

【Gグループ 討議内容】

テーマ 「子育て支援」について	グループG	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域支援が多くなっていますが、参加者は多いのですか？広報とかに載せている？PRはどのようになっているのか？ ・地域の協力も必要なら、これらの施策の周知を子育て世代以外にも広げたほうがよい。 ・現在千歳は北陽地区に新居が偏り、それに伴って北陽小学校が全道1のマンモス校になっている。 ・仕事をしている間の子供の預ける場所や預けることが出来る時間は適正か？ ・学童クラブ、児童館等、新しい施策はどんどん打ち出すが、中で働いている職員の数が増やされず、子供に十分な目が届いていない。 ・「子ども食堂」と呼ばれる生活困窮者に支援できる一般市民が参加できることはありますか。 ・ひとり親で、親にストーカーなどの危険因子がある場合、どのような対策があるのですか？ ・中絶できず産むことになった赤ちゃんの受け皿となるシステムはありますか？ ・親のいない子どもはどういった生活をしているのか。 ・養子縁組があった気がする。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援に対する広報のあり方 ・現場に即した人員配置（保育所、児童館） ・複雑な家庭環境にある子どもの支援（母子、父子家庭、生活困窮者） 		
<ul style="list-style-type: none"> ・PR、ちゃんと、いいねなどへの掲載が必要かと思えます。 ・町内会などでPRしてもらおう。幅広い年齢の人達の支援も必要ではないでしょうか？ ・コンビニなどでのポスター貼りなど。 ・子育てに関する制度が変わる時に市側が直接家庭訪問してくれたら周知に繋がる、各家庭の様子を把握できるのではないかと思います。 ・必要な人に必要な情報を提供するため、検診ごとにその期間に大事な情報のみを提供していく。ガイドマップの内容が変わっても、細かに随時対応できる。 ・子育てと関わりがない人でも子どもと交流できる機会があったらいいと思います。1日保育体験。 ・市の職員が直接17時30分過ぎの児童館に行ってみる事が必要だと切に思います。現場で何が起きているのか知っておかないと、実のある支援は難しい。 ・保育所の横のつながりを強化できたらミスマッチを軽減できるのかなと思います。 ・学童クラブのようなものを各町内会単位で行う。地域ネットワークの強化に繋がる。 ・コミセンや公共施設で空いている日に子供を受け入れられる体制を作る。 ・子供たちを叱っても問題ない地域づくり。 ・学校によって児童のばらつきがあるので、北陽小などはスクールバスの子達で比較的余裕のある学校に分散してはどうか。 ・市による子育て支援を基本に民間でも子どもサポートセンターを増やし、市では出来ないサービスを提供する。 ・各相談窓口、民生委員への相談で情報を収集して支援していく。 ・民生委員の仕事を細分化して担当者を増やさないと、きめ細かいフォローは難しい。 ・ネグレクトや虐待等の立場に追い込まれている子ども達を地域で見守り「子ども食堂」開設もひとつの案かと。 ・児童福祉施設が千歳市にはないので、近隣（北広島市など）に頼るのではなく、市で受け入れ施設を作るべきだ。 		
まとめ①	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報を必要な人に、いかに届けるか。（情報弱者） 	1票
まとめ②	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現場に合わせた臨機応変な対応。 	1票
まとめ③	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民生委員や町内会をいかに取り込んでいくか。 	3票

私達にできる事	・町内会活動とタイアップして子ども達に見守り目をかける。
残したい意見	・若い世代の人達にも1日保育体験等に参加してみる。

【グループ H 討議内容】

テーマ 「子育て支援」について	グループH	
<ul style="list-style-type: none"> ・公園で二人の子にうちの子がなぐられ泣いて殴り返して帰ってきたことが何度とある。 ・みんなに〇〇ちゃんと話したらダメと言われ、みんなに無視をされたことがある。 ・近所の小学生のいじめの噂を聞いたがどこに持っていったら良いのか？ ・親が不在がちの小学生に対してどの程度しつけに関わっていいのかわからない。 ・子どもが熱を出したといって休んでばかりいる先生が注意をされうつ病になり学校に来なくなった。 ・先生が自分の気に入らない子に対して会議をする。うちの子もされてみんなから無視をされたことがある。 ・教員の教育・教師の資質向上 ・テストが半年以上返却されず直されていない。 ・クラス崩壊・教師が馬鹿にされている。 ・子供手当をもっと増やしてほしい。 ・子育てに関する市の取り組みをもっと見る機会を増やしたい。 ・高校生まで義務教育にしてほしい。 ・カウンセリングを親に対してもしてほしい。 ・高校生の給食を支給、私立に通う世帯は手当として支給。 ・子育てガイド等の配布は全家庭にしてほしい。 ・産婦人科が少ない。 ・幼稚園の保育料に補助金を出してほしい。 ・幼稚園から中高生までのいじめに対しての法的相談窓口があるのかわからない。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園・小学校のいじめに対する対応不足。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・高校生までの義務教育化 		
まとめ①	<ul style="list-style-type: none"> ・産婦人科をもっと増やしてください。 	8 票
まとめ②	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金を出してください。 	6 票
まとめ③	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ相談専門の窓口を作ってほしい。 	4 票
私達にできる事	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の安全を見守る「見守隊」の一員となり活動。 	
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援のための講習会をもっと増やしてほしい。 	

【グループ I 討議内容】

テーマ 「子育て支援」について	グループ I	
<ul style="list-style-type: none"> ・住環境、長く住みたい魅力に溢れているまちか？市外への進学、就職を機に転出し戻ってきたいと思えるか。 ・HPの情報検索がしづらい。 ・いいお産の日 in ちとせ以外にも育児用品のフリーマーケットを開催してほしい（育児用品にはお金が結構かかるため）。 ・保育付きの講習会ぶちゼミ等といったもの、親がリフレッシュ出来るようなものをもっと増やしてほしい。 ・2人目3人目と子供を産めば補助額が増えるような施策と支援可能な財源の根拠の明示。 ・4年保育を行っている園が少ない（現在2園）のもっと増やしてほしい。 ・政策の見える化。子育て支援をしている姿勢のアピール。駅前の施設にコンシェルジュの設置。 ・都市型の保育施設の充実。車所有前提の施設が多い印象。駅前（千歳駅・長都駅）にあるとよいのでは。 ・実際に千歳での取組内容を市民は周知しているのか？（どれくらいの人知って利用しているのか？） ・企業への支援。育休の充実。雇用環境 etc の支援。 ・企業連携ぶちゼミ等のイベントを各児童館でももっと開催してほしい（ちとせっこセンターやげんきっこセンターが多い気がします）。 ・保育付きの企業をもっと増やしてほしい。 ・情報発信とイメージアップ。空港やメディア媒体を使ったアピール。 ・保育所の選び方（各家庭によって選びたい保育所等がある）。 ・市の政策がどこまで企業に通じるのか？（保育休暇・育休など） ・不妊治療費助成の増額。妊婦・車いす専用の駐車場をもっと増やしてほしい。 ・妊婦検診の完全無料化。 ・予防接種の完全無料化（定期接種以外も）。 ・媒体も必要だが定期的な周知も必要→方法は？メディア・ネット・イベントの開催。 ・育前・育中・育後それぞれに必要な情報を整理して誘導してくれる情報サイトや一斉送信のメール等。 ・近所とコミュニケーションを作るキッカケを町内会活動で。 ・子育てイベントの周知方法。市で開催されるイベントの中で広告する関連イベントに挟み込む等 ・病気の子供を預かってくれる保育園を作ってほしい。 ・市へ声を届ける方法。目安箱やメールフォームなど、声が届く前に諦めてしまわない様にフォローを。 		
<p>・行政への要望）ホームページ素人でも簡単に検索できるように。情報の更新を細めに対応してほしい。育児用品への手当の充実（フリーマーケットの開催）。市民への取り組み内容の周知が不十分（ツイッターとか使うなど）。情報発信とイメージアップをもっと積極的に取り組んでほしい。</p>		
<p>・保育環境）4年保育を行っている保育園が不足しているのもっと増やしてほしい。2人目3人目が生まれた時に補助が増えるような施策と、その財源の確保。中小企業への育休取得の支援と雇用環境（非正規から正規へ等）の支援。都市型の保育施設（JRでの通勤の方に利用しやすいように）。</p>		
まとめ①	<ul style="list-style-type: none"> ・千歳市の子育て支援の取り組み、イベントの周知する方法の徹底（ツイッター、HPの情報更新、HPの質の向上）。 	2票
まとめ②	<ul style="list-style-type: none"> ・2人目3人目が生まれた時の補助金の増額と、その財源の確保。ペウシなどの商業施設に子育てサポートのブースを作ってほしい。（駅前にコンシェルジュの常駐など） 	3票
まとめ③	<ul style="list-style-type: none"> ・不妊治療、妊婦検診、予防接種の無料化（おたふく、インフルエンザ）。育児にかかる費用への補助（紙おむつや粉ミルクなどの現物との引換券）。 	7票
私達にできる事	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て経験のある元ママさん達がボランティアとして子育てサポートできる環境を。（病気の子供を預かってくれるなど）制服の譲り合い（引っ越しの際便利）。 	
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業への夫の育児休暇、育休取得支援や雇用環境の改善（非正規から正規への支援） 	

【Jグループ 討議内容】

テーマ 「子育て支援」について	グループJ	
<ul style="list-style-type: none"> • PR不足で子育てするなら千歳市は初めて聞いた。他地域との違いをもっとPRすべき。子育て支援のPRが足りない。 • 離婚しやすい状況になっている。片親に対する支援は充実している。 • ある意味子育て支援が多すぎ？ • 男性の育児休暇が取りづらくなっている。企業側の問題もある。 • 近所のコミュニケーションの希薄化。 		
<ul style="list-style-type: none"> • 子育て支援に対するPRが足りない。情報不足。子育て特典カード。 • 片親に対する支援が充実しているので離婚しやすい状況になっている。 • 男性の育児休暇が取りづらくなっている。 • 近所のコミュニケーションの希薄化。 • 中学生までの医療費の無償化。 		
<ul style="list-style-type: none"> • ちとせアプリ。 • 町内会への加入の強化。若者が入りやすい環境作り。 • 経営トップを対象にした育児に対するセミナーや研修を行う。 • 子育て支援の制度のせいにならずに努力する相手を大切にする。 • 実現の可能性を研究する。 • 子育て特典カードの提示で配送料無料など企業として応援したい。セブンイレブン。 		
まとめ①	<ul style="list-style-type: none"> • 子育て支援の制度が多すぎてわかりづらいので、アプリなどを作ってわかりやすくしてほしい。 	票
まとめ②	<ul style="list-style-type: none"> • 町内会に若者が入りやすい環境作りと加入する意識を高める必要がある。 	票
まとめ③	<ul style="list-style-type: none"> • 経営トップを対象に育児休暇に対するセミナーや研修があるといい。 	票
私達にできる事	<ul style="list-style-type: none"> • 情報を知ろうとする努力をする。自分が周りに知らせる努力が大切！！ 	
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> • 子育てを新しい視点で考える。 	

3、千歳市民討議会提言

(1) 千歳市民討議会実行委員会での調査・研究

討議会投票結果と提言

順位	まとめ	投票数
1	居場所を作る。(町内会館の有効活用、子供～高齢者まで来られるコミュニティ、AM9:00～PM5:00いつでも空いているような)	14票
2	ホームページが見にくいので、外部委託する。高校や技術大学等に授業の一環として作成を依頼する。	12票
2	バス路線の見直し。アクセスの良い所に施設を集める(中心街の空ビル施設活用)	12票
4	虐待と疑われる子供の発見時には迷わず虐待110番できる環境を作る。	10票
4	18歳以上の青年世代が結婚、子育てに興味を持つことが次世代に繋がるので、その世代を育てる。	10票
4	人が集まれる図書館を作る(ペウレ)	10票
7	若い世代が町内会に参加してもらう事が子育て世代への情報発信になるので、若い人は町内会費を無料化するなどの対応を各町内会で考える。回覧板に子育ての情報を載せるなど有効活用する	9票
8	町内会館の定期的な解放 (世代間交流及び子育て世代の町内会による地域コミュニティの確保)	8票
8	青葉公園にて夏フェス(野外音楽祭、花火)	8票
8	産婦人科をもっと増やしてください	8票
11	「ちゃんと」や市でガイドマップを作成する。駐車場・キッズルーム・分煙・ランチ等の割引サービス	7票
11	市民参加型の広報活動。(MAPを作る、Facebook、QRコードを入れる、フリーペーパーの活用、見やすいHP)	7票
13	医療費の助成・医療行為・器具の充実 (妊娠検診助成の増額、施設・往診等の充実、優秀な医師の確保)。	6票
13	補助金を出してください	6票
15	保育士の増員。育児休業をしっかりと取らせるために企業への支援	5票
15	子育て支援PRの為に空港にポスターの貼り付け、小児科、ちゃんと等にパンフレットを入れる	5票
17	市専用のアプリ開設(子育てQ&A、コンシェルジュの対応、市民からの提言窓口の設置、市からの情報提供、手続き等)。	4票
17	ロゴマークを使う (カントリーサインに使う、PR動画をYOUTUBEで流す)	4票
17	いじめ相談専門の窓口を作ってほしい	4票
20	民生委員や町内会をいかに取り込んでいくか	3票
21	マンモス校解消の為に、学校の増設、もしくは交通手段を充実させる	2票
21	医療費・小児科・産婦人科の充実	2票
23	広報を必要な人に、いかに届けるか(情報弱者)	1票
23	現場に合わせた臨機応変な対応	1票

【 提 言 】

一 コミュニティ、交流場所の創造

千歳市が次世代を育みやすいまちに成長するため、個人それぞれで活動をするまちではなく、多くのコミュニティを作り老若男女が日頃から気軽に交流し共に情報を共有することが出来るまちになることを提案させていただきます。

千歳市には多くの人が交流するための場所が数多くありますし、次世代を育むための施策も多く行われております。しかし、その場所の存在や施策があまり知られていなかったという討議結果が出てしまいました。この交流できる環境や施策をより多くの市民に知っていただくための様々な情報発信を行う事で、沢山の市民が交流し情報を共有することが出来るコミュニティが自然と作られるまちを作っていくことが出来ると考えます。また、千歳市からだけではなく市民からも積極的に関与していくことが出来る体制を整えてあげることで双方向からの積極的な関与が可能な協力体制を築くことが出来ます。

具体案としては千歳市ホームページの見やすさの改善、又は新しい千歳市の交流できる場所を分かりやすくした専門サイトの開設、情報を発信することが出来るスマートフォンアプリの開発、そして現状の広報活動だけではなく、市民に対し更に一歩踏み込んだ広報をすることを希望します。

一 交通弱者へのサポート

情報を知ってもその施設・施策を利用してもらわなければ意味がありません。2016年9月をもって千歳市内を循環するピーバスも廃止されることから、各施設・施策を利用しやすくするための、交通弱者への対策も必要です。

現在、交通の新しい試みとして千歳相互バスによるバスの利用促進のための平成28年10月1日より、千歳市交通戦略プランの一つとしてバスロケーションシステムなどの運用が開始されています。しかしながら、バスを多く利用していただきたい老年世代にとってはスマートフォンの利用が難しく、すべての交通弱者を救済することは難しいのが現状です。すべての世代がよりバスなどの公共交通機関の利用促進のため、ルールを決め次世代を育てている子供を持つ家庭に対する更なる交通手段の創設も期待します。

具体案としては、現在長都・釜加地区で実施されているバスに代わるデマンドタクシーの市内全域への拡充などがあります。

一 子供たちの保護

現在の千歳市において、青少年育成・相談指導として教育委員会青少年課が多くの窓口を設け、沢山の相談を受け付けています。しかしながら、その相談窓口の存在があまり知られていないという結果が討議会から出てしまいました。これからの千歳を担っていく子供たちを守っていく為にも子供に対する情報を受け取りやすくし、多くの市民が次世代を担う多くの子供たちを守る方法を知り行動する事が出来るように、子供に関する相談窓口の周知の促進を進めていくことも希望します。

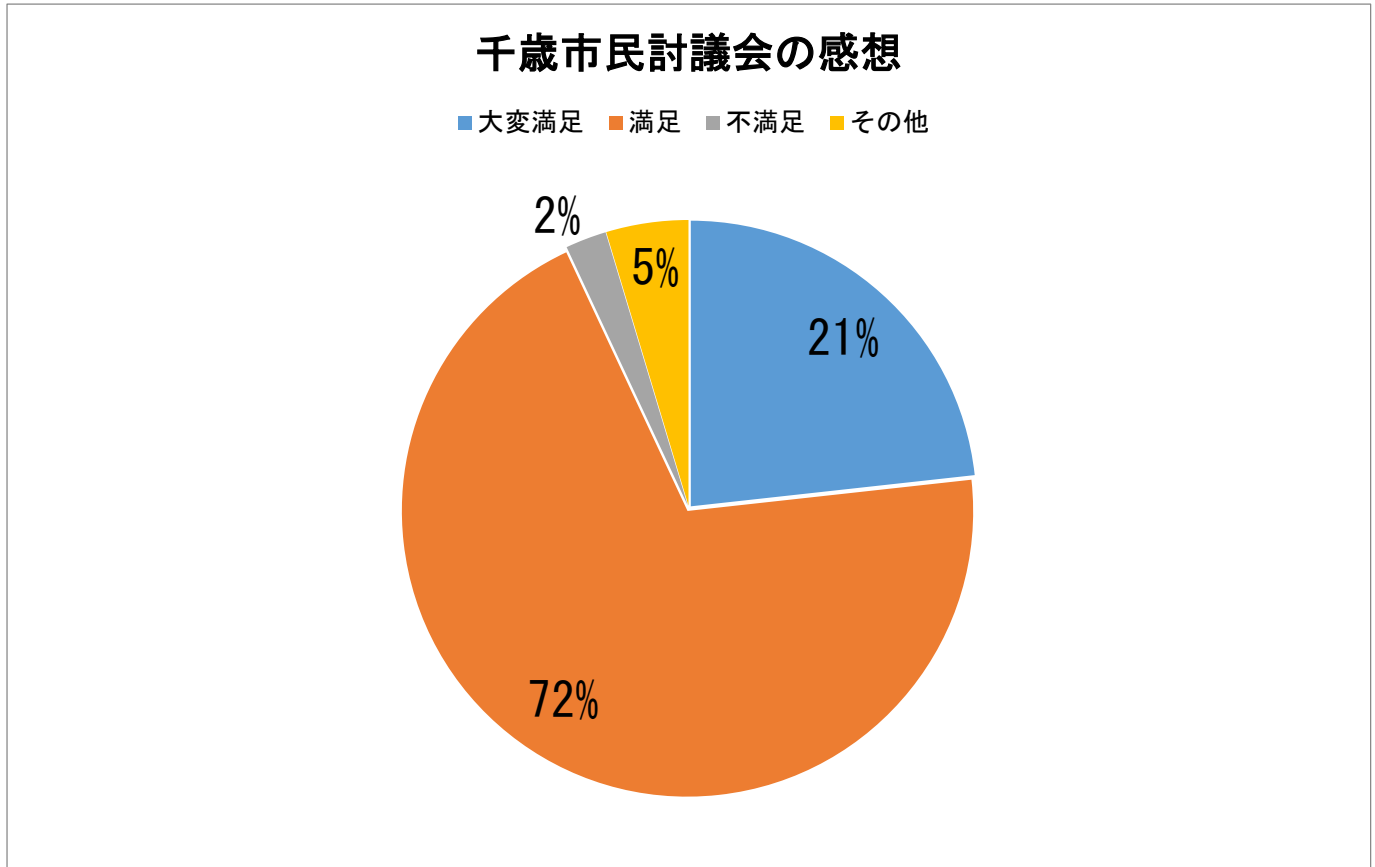
(3) 今回の市民討議会の検証と考察

千歳市民討議会アンケート結果

第4回千歳市民討議会 報告会 アンケート(対外対象者)

問1、千歳市民討議会へ参加された感想をお聞かせ下さい。

□大変満足 9人 □満足 30人 □不満足 1人 □その他 2人



その他

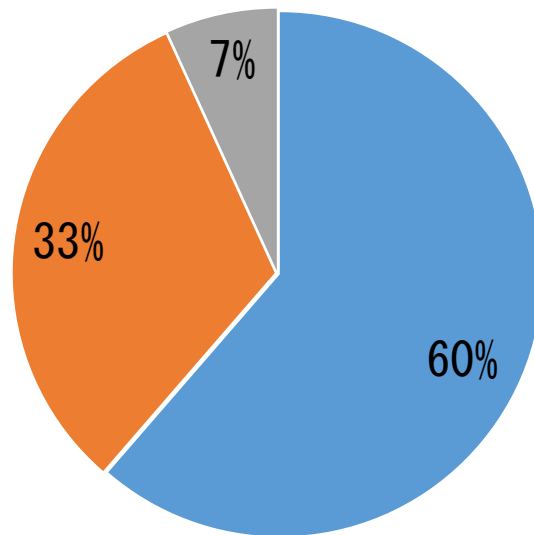
- ・若い方の意見を聞き、すがすがしい気持ちになれた。
- ・討議テーマからずれた主張をする方がいて、充実した討議が出来なかった。

問2、情報提供について

□大変参考になった 25人 □もう少し詳しく聞きたかった 14人 □その他 3人

討議テーマ1 検証内容について

■ 大変参考になった ■ もう少し詳しく聞きたかった ■ その他

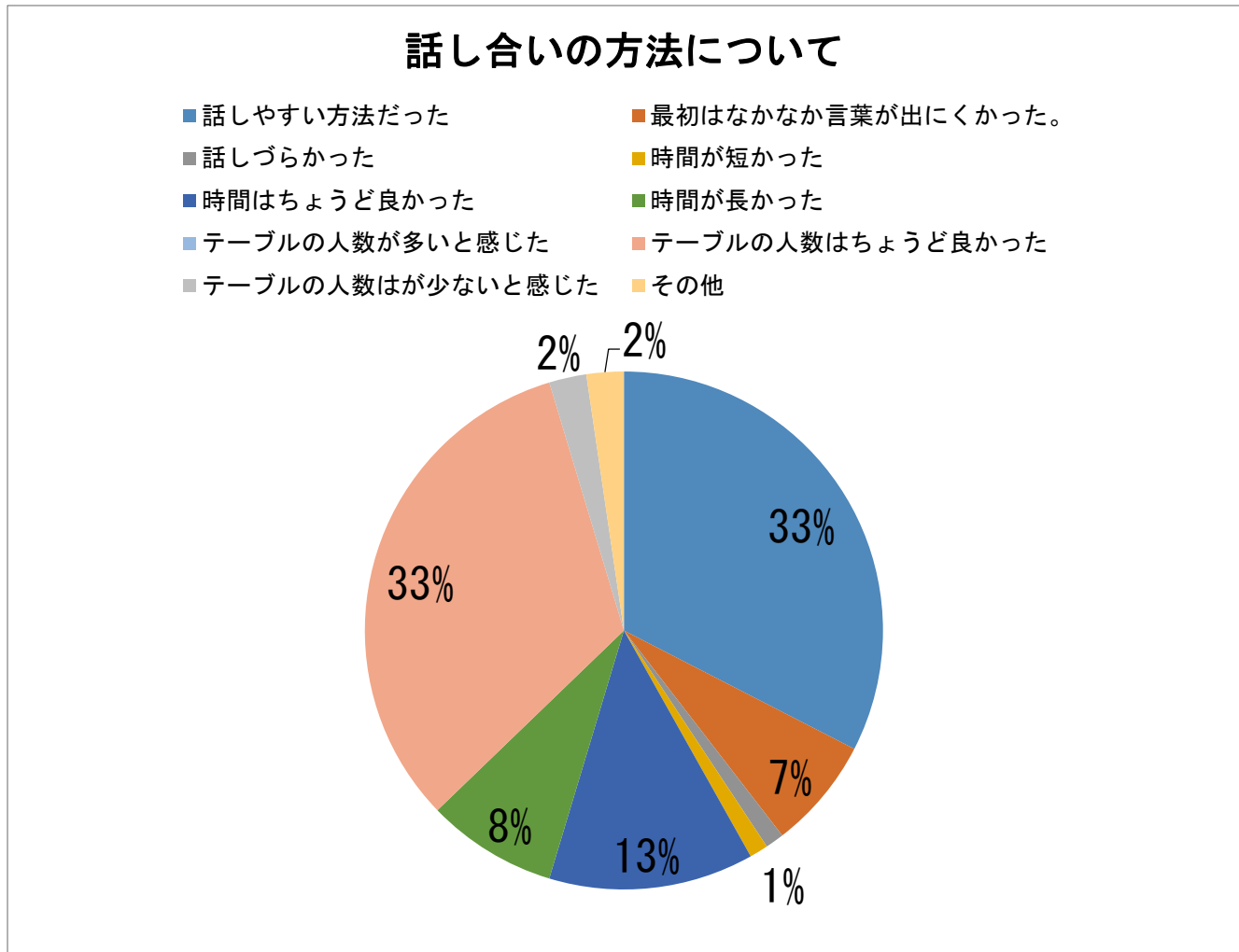


その他

- 利用状況まで提供してもらえると、効果が分かったと思います。
- 実際に現場にいる方の意見も聞きたかった。
- レジメの不備が残念だった。

問3、話し合いの方法について(複数回答可)

□話しやすい方法だった 28人 □最初はなかなか言葉が出にくかった 6人
□話しづらかった 2人 □時間が短かった 1人 □時間はちょうど良かった 1人
□時間が長かった 7人 □テーブルの人数が多いと感じた 0人
□テーブルの人数はちょうど良かった 28人 □テーブルの人数が少ないと感じた 2人
□その他 4人



その他

- テーブルが広すぎる。対面が遠い。
- 情報提供の時間が長かった。
- 似ている環境の方と一緒にだったので話が進みました。
- テーブルコーディネーターの方は、市の政策にも、市民の意見にも詳しい方が望ましい。

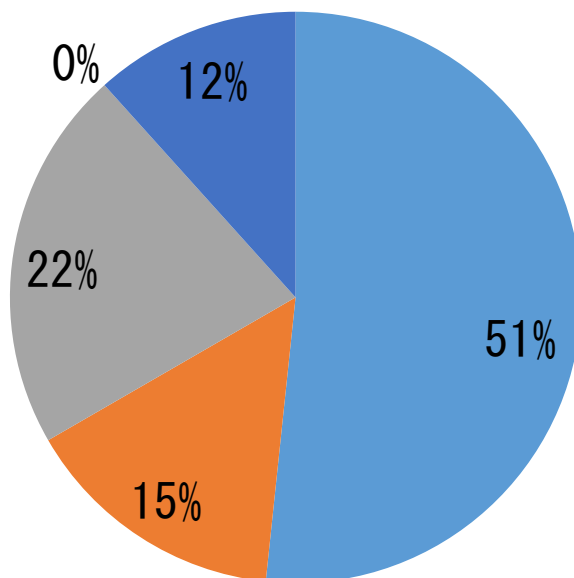
問 4、なぜ、今回市民討議会に参加しようと思いましたか。※複数回答可

□案内がきたから 31人 □テーマに興味があったから 9名 □謝礼が出るから 13人

□ポスターを見たから 0人 □その他 7人

提言内容について

■案内がきたから ■テーマに興味があったから ■謝礼が出るから ■ポスターを見たから ■その他



その他

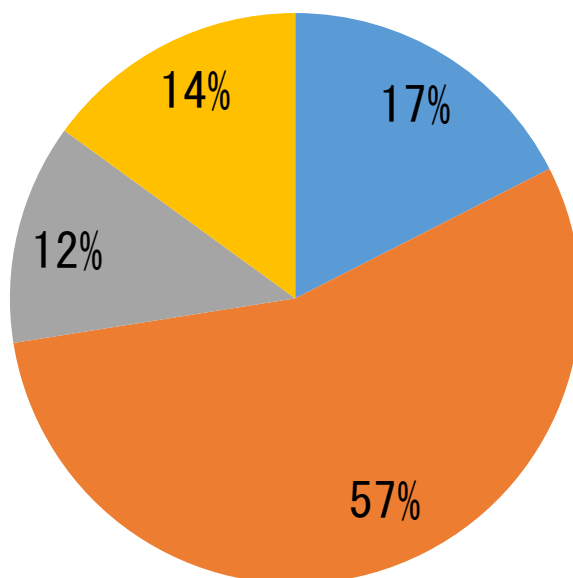
- ・社会勉強の面でも、市民がどう思っているか見てみたかった。
- ・市政だけでなく、市民が努力することが、市の活性化の第一歩と思うから。
- ・何となく興味があった。
- ・友人にさそわれ、町づくりに対して意見が言えるので、良い町にしたいと思います。
- ・保育好きだったから。
- ・意見があったから。
- ・関心を持ってましたから。

問5、千歳市民実行委員会の運営に携わりたいと思いますか？

□携わりたい 7人 □どちらでもない 24人 □携わりたくない 5人 □その他 6人

参加者の選択方法

■携わりたい ■どちらでもない ■携わりたくない ■その他



その他

- ・携わりたいけど、足が悪くて出来ません。
- ・多忙なので難しい。
- ・子供がいるので難しい。
- ・賃金を頂ければお仕事してみたいです。
- ・得手、不得手があるので、得意な事なら協力しても良い。
- ・出来る事はお手伝いしたい。

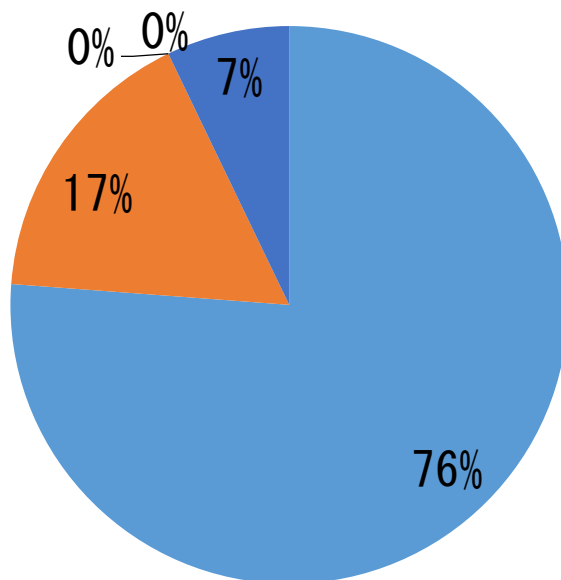
問6、テーブルコーディネーターのグループ討議の進め方はいかがでしたか。

□良かった 32人 □普通 7人 □あまり良くなかった 0人 □良くなかった 0人

□その他 3人

討議の進め方について

■良かった ■普通 ■あまり良くなかった ■良くなかった ■その他

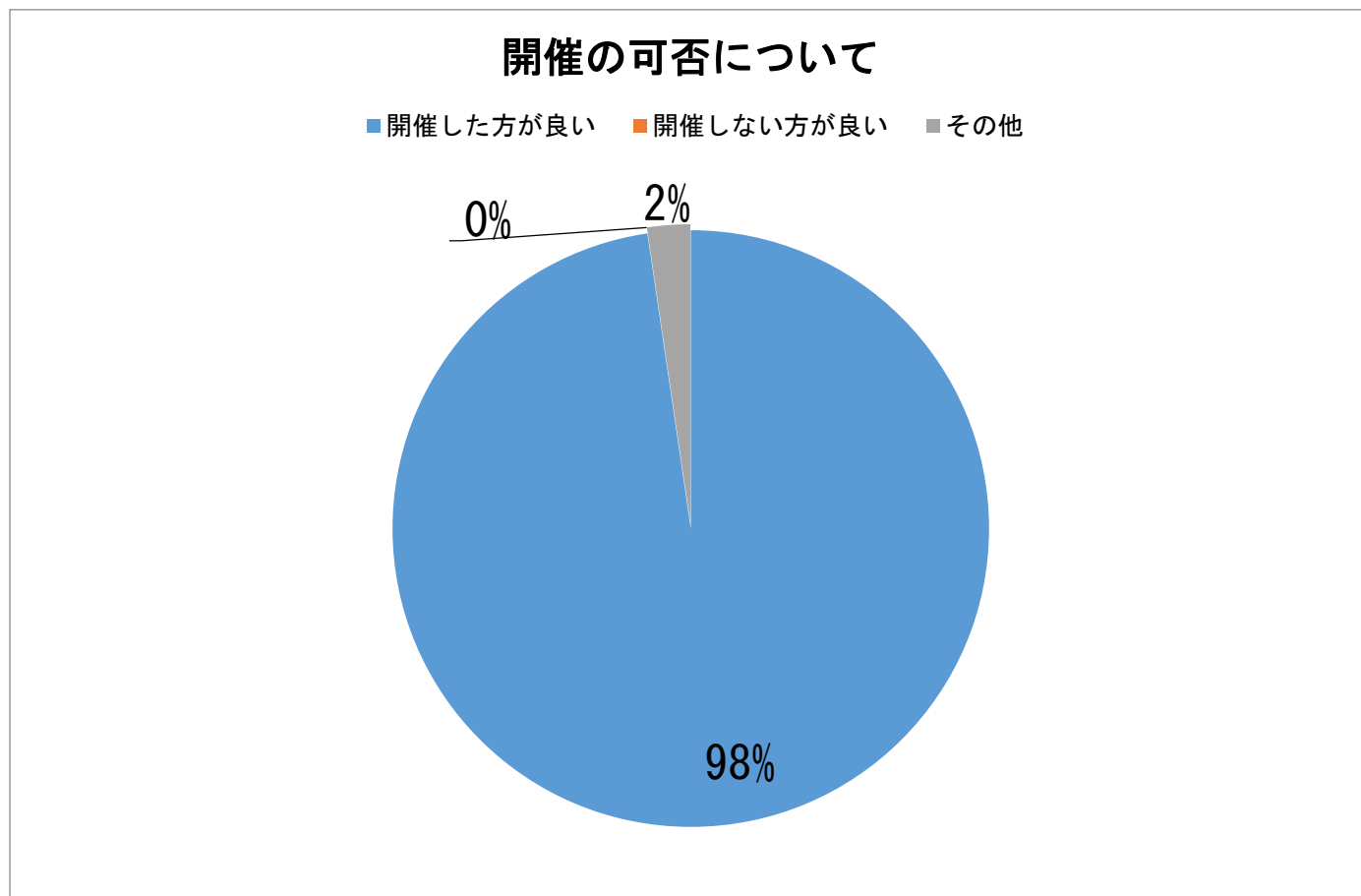


その他

- ・頑張って起動修正しようとしてくれたが、難しかったですね。
- ・楽しく気軽に皆様とお話しを出来る雰囲気にして下さりました。
- ・声がよく聞こえなかった。

問7、今後も、「千歳市民討議会」を開催した方が良いと思いますか？

□開催した方が良い 41人 □開催しない方が良い 0人 □その他 1人



その他

- ・いろいろな方々の考えや、交流ができる意味でも良い企画だと思います。

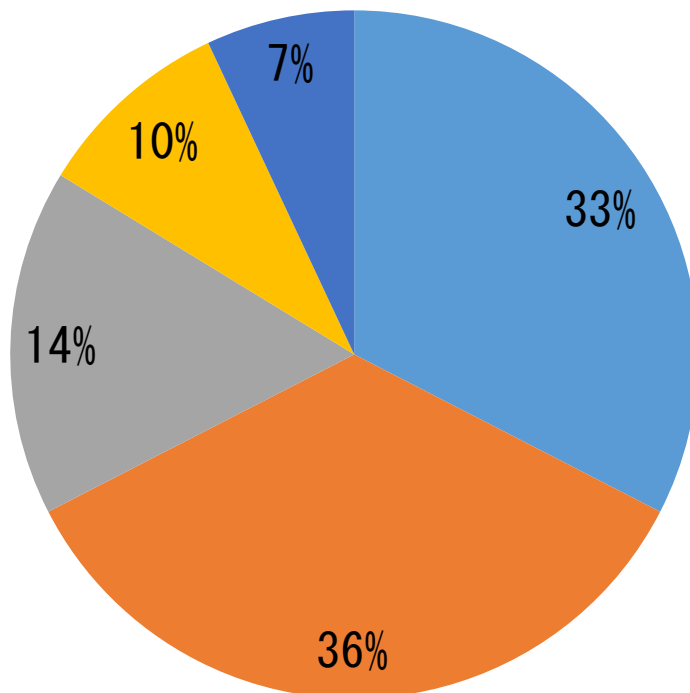
問8、討議をしていく中で、「まちづくり」に関してご自分がこれまでもっておられた考えに変化はありましたか

□自分の考えが参加前と比べて大きく変わった 14人 □どちらかという変わった 36人

□どちらかという変わらない 14% □変化はなかった 10% □その他 7%

考えの変化について

- 自分の考えが参加前と比べて大きく変わった
- どちらかという変わった
- どちらかという変わらない
- 変化はなかった
- その他



その他

- 変化はなかった。日頃考えている事と重複が多かった為。
- まちづくりと言うよりは、完全子育て重視でしたね。でも、他の意見も多数出ていた。
- 意外にそれぞれに自分の住んでいる場所について考えているのだなと思いました。

問9、今後どのようなテーマが良いと思いますか

- 人が立ち止ってもらう為にはどうするか。
- 千歳市に必要な施設について。
- 介護。(同じ内容が他に1件)
- 空間作り(空いているお店や空き家、アパート)
- 老後の生き方(心の安定)引きこもり、対人関係恐怖症予防(たびたび相談受けるので)
- 街の活性化について。
- 市民の意識が高まる様なものであれば良いと思う。
- 元気な街づくり。
- 国外観光客へのおもてなしと地元市民との共存。
- 千歳市の雇用・千歳市の医療状況など。
- 学校に関する事。
- 千歳空港の発展の為にすべき事。
- わかりません。
- 千歳の教育について。
- お年寄りの介護。
- 図書館を中心街に。コンパクトシティ作り。
- 若い人と町内会との関係性。
- 教育の機会の充実。観光名所の再発見。世代間交流の機会の確保。
- 介護、認知症予防。
- 子供に関する事は継続して欲しい。又、逆にお年寄り向けのテーマや、コミュニティの在り方。
- 高齢化社会をどう乗り切るか。
- まちづくりなら環境整備、道路整備とか直接関わるテーマ。確かに子育ても大事だが。
- 千歳市駅前、駅裏の活性化について。
- 市内の不利用建造物の行く末について。
- 千歳川整備について。
- 高齢化社会に向けて地域でお年寄りを見守っていく方向について。
- 労働環境について。
- 生産年齢人口の人達が積極的に地域活動や社会参画に参加するには。
- 独身世代討議会、子育てと街U-18 討議。
- 野生動物。
- 地域交流の持ち方。

問10、その他お気づきの点がございましたらご記入お願い致します。

- 司会が良かった。
- 父の日に開催されたので、参加が少ないのだと思います。
- 情報提供の量が少なかったので、事前に練習してまとめてください。
- 大変でしたが勉強になりました。けど、また来るかどうかはなんとも。
- 他のテーブルの提案を聞きましたが、すでに行われている事業や、すでに解決しているものであり、市民の情報不足を感じた。
- 大変有意義でした。又、ご招待下さい。
- 事前準備等お疲れ様でした。
- 和気藹々、初めての方と会話出来て有意義な一日でした。お疲れ様です。
- 子育てするなら千歳市政策冊子の資料偶数ページが欠落していて混乱。完全に初歩的ミスですね。パワーポイントもスムーズではなかった。当初、参加のお願いの案内が来た時、住みたいまち、まちづくりを実現となっていたため参加したが、こんなに「子育て」なら参加しませんでした。(実は私は子供いないので。専業主婦)もっと最初「子育て」がテーマだと大々的に出すべきではないでしょうか。でもいろいろな意見が聞ける。
- 討議メンバーがいろいろな年齢層で非常に良かったが、例えば女子高生のみにする等も、斬新なアイデアが出ると思う。
- 資料については、郵便等により事前に送付し、目を通してもらっていた方がより分かりやすいと思いました。記名のアンケートには、とても違和感を覚えました。アンケートは無記名の方が書きやすいです。いろいろな人の意見を聞くことができ大変勉強になりました。
- 情報提供の資料を事前に送付してもらえたら理解が深まると思います。市政にたいして声を届けるこのような場、機会がもっとあれば嬉しいです。
- これからは町内会が重要な役割を担うのですが、残念ながらこの町内会が住民の信頼を失っている例が多いのが現実です。この身近なコミュニティを何とかしないと何事も始まらないと思います。この世界で一番美しい町をみんなまでPRしたいですね。
- 最初の案内文書にテーマが子育て支援という事を明記すべき。このテーマであれば参加しなかったもので。政策冊子のページがとびとびになっていた。
- 特にないです。
- メモ紙欲しかったです。
- 私自身は子育てには関係はなかったのですが、子育て支援だけじゃない意見も沢山聞けました。とても良いテーブルにつけて楽しく過ごせました。
- 女性トイレ混み合いますので、時間を少しのばしてほしい。
- テーマははっきり書いて案内してほしい(DM)。意見がかぶって投票しづらかったので、実際の意見数と差異が出る。
- 準備等、お疲れ様でした。有難うございました。
- 資料に不備があることに気付いた時点で案内があれば、参加した方々が混乱しなかった気がします。

(オブザーバーを含む計42名による集計結果)

4、資料

(1) ポスター

第4回ポスター貼り付け

「Voice to our future」

6/19日
《開催時間》
AM9:30~PM4:30
《場所》
千歳市公民館大集会室
千歳市真町176-3
※会場周辺に駐車場を用意しております。
※昼食はお弁当をご用意しております。

Voice of ちとせ
第4回 千歳市民討議会
「みんなで話そう!次世代を育むための道」

【関わり方1】
住民基本台帳より無作為抽出された市民が対象となります。参加される市民へは2,000円の謝礼が支給されます。
※交通費は支給されません。

【関わり方2】
一般参加
※18歳以上を対象とする。
※事前にお申込み下さい。
一般参加者としての参加
「謝礼はありません」

定員80名

「Voice of ちとせ」市民討議会は、千歳市民を対象に無作為に抽出した市民に案内状を送っております。
今までまちづくりの活動へ参加する機会がなかった市民の「声なき声」を聴ける手法

★市民意識の改革

- 専門家からの情報提供
専門家や行政から討議の基礎となる情報を提供してもらう。基礎知識が無い人でも議論に公平に参加出来ます。
- 討議・投票・合意
少人数で討議を行い、討議ごとにメンバーを変え、結論に投票を行う。論議を公平かつ深く行いやすく、最終的に結論を出すことが出来ます。
- 提言の公開
結果を「提言書」としてまとめ、マスコミを通じて広く公開することで公正・公平・信頼性を確保出来ます。

★市民討議会とは…
無作為抽出により市民が集まり、まちづくりに関するテーマについて情報提供を受けた上で話し合い、そこで出された意見を集約してまちづくりに活かす市民参加手法のひとつであり、ドイツの住民自治手法であるブラーヌクスツェレを日本風にアレンジしたものです。それまで、意見を表明したくてもなかなか出来ないサラリーマンやパートの主婦、学生達の意見を吸い上げる事が最大の特徴であります。
また、公聴会、タウンミーティング等の市民参加手法で、行政が出席依頼した各種団体や自治会役員などのような、いつも決まった顔ぶれが集まる事を避けられる為、公平性という観点で老若男女問わず参加できる手法であります。

★市民意識の改革

[主催] 千歳市民討議会実行委員会 事務局 一般社団法人千歳青年会議所 [後援] 千歳市、北海道新聞千歳支局、千歳民報社、株式会社メディアコム

[お問い合わせ先]
千歳市民討議会実行委員会 事務局 一般社団法人千歳青年会議所
副実行委員長 加藤 寛志 090-7644-0409
事務局 長 木村 利貴 080-6099-2786

〒066-0042 千歳市東雲町3丁目2-6
千歳商工センター1F
HP <http://chitose-jc.com/>
mail mail@chitose-jc.com

(2) ポスター掲示依頼文

’16千実発第 号

平成28年5月吉日

各 位

千歳市民討議会実行委員会
一般社団法人千歳青年会議所
理事長 中山 千太郎

ポスター掲示のお願い

謹啓 青葉の候、皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、日頃より千歳市民討議会実行委員会(一般社団法人千歳青年会議所)に対し、ご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

当実行委員会では市民参加によるまちづくりを実現するため昨年に引き続き「第4回千歳市民討議会」を下記の日程で開催する運びとなりました。この討議会は、18歳以上の市民の中から2,500名の方を無作為で抽出させて頂き、参加をお願いし、まちづくりに対するご意見を頂くとともに、まちづくりへの市民参加のきっかけづくりに繋がりたいと考えております。

つきましては、「第4回千歳市民討議会」のポスターを作成しましたので、本討議会の趣旨をご理解の上、ご掲示頂きますよう、お願い申し上げます。

謹白

記

1. 日 時：平成28年 6月19日(日) 09:00~16:30
2. 場 所：千歳市立千歳公民館 (千歳市スポーツセンターダイナックアリーナ隣)
住所 千歳市真町176-3 電話 0123-23-2740
3. その他：市民討議会終了後、ご掲示いただいておりますポスターについては、貴施設にて廃棄いただけると幸いです。

以上

【お問い合わせ先】

千歳市民討議会実行委員会／一般社団法人千歳青年会議所

加藤 寛志 携帯：090-7644-0409

木村 利貴 携帯：080-6099-2786

(3) 開催のご案内

‘16千実発第39号

平成28年5月吉日

千歳市民の皆様へ

千歳市民討議会実行委員会
一般社団法人千歳青年会議所
理事長 中山 千太郎

Voice of ちとせ 第4回千歳市民討議会

「みんなで話そう！次世代を育むための道」参加のお願い

謹啓 青葉の候、皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。突然のお手紙で大変失礼致します。

さて、千歳市民討議会実行委員会では市民参加によるまちづくりを実現するため、平成25年より「千歳市民討議会」を開催しており、本年も来たる6月19日開催する運びとなりました。この討議会は、18歳以上の千歳市民の中から2,500名の方を無作為で抽出させて頂き、参加をお願いするものです。

無作為で抽出された市民の皆様にご参加頂き、まちづくりに対するご意見を頂くことで、まちづくりへの市民参加のきっかけづくりに繋がりたいと考えております。また、市民討議会で皆様から頂いたご意見を集約し、提言書として行政に提出いたします。

つきましては、貴方を無作為抽出により選出させて頂きましたので、何とぞ本討議会の趣旨をご理解の上、ご参加下さいますようお願い申し上げます。尚、決して堅苦しい会ではございませんので、お気軽にご参加下さいますようお願い申し上げます。

謹白

記

1. 日 時：平成28年6月19日（日）9：30～16：30 受付開始9：00から

2. 討議テーマ『住みたいまち、住み続けたいまち、暮らしやすいまちを目指して』

3. 場 所：千歳市市立千歳公民館 2階大集会室

住所 千歳市真町176-3 ※千歳市スポーツセンター隣(ダイナックスアリーナ)

電話 0123-23-2740 ※駐車場有り

4. 謝 礼：2,000円をお支払いさせていただきます。 ※交通費は各自ご負担になります。

※ 参加謝礼金は当日のプログラムに全て参加された方にお支払いさせていただきます。

遅参し半日以上参加できなかった方、または体調不良などやむを得ない理由を除き途中でお帰りになる方にはお支払い出来ませんのでご了承ください。

5. 募集人数：80名とし、参加を承諾された方が多数となった場合は抽選とさせていただきます。

6. その他：当日は、昼食を用意致します。 飲み物は各自ご用意願います。自動販売機は御座います。

お子様をお連れになる場合、お子様分の昼食は用意出来ませんので参加者で持参してください。

7. 参加の確認

参加の場合 ⇒ 承諾ハガキの送付（別添様式）

※お手数をお掛けしますが、別添承諾書に必要事項をご記入の上、平成28年6月6日（月）までに返送下さいますようお願い申し上げます。

以上

【お問い合わせ先】

千歳市民討議会実行委員会／一般社団法人千歳青年会議所

事務局 加藤 寛志 携帯：090-7644-0409

木村 利貴 携帯：080-6099-2786

(4) 参加決定通知書

第 16 千実発 第 号
平成 28 年 6 月 日

参加応募者 各位

千歳市民討議会実行委員会
一般社団法人千歳青年会議所
理事長 中山 千太郎

Voice of ちとせ 第4回千歳市民討議会 「みんなで話そう！次世代を育むための道を」参加決定通知書

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度は、第4回千歳市民討議会へご応募いただき誠にありがとうございました。

つきましては、下記の通り千歳市民討議会を開催することが決定致しましたのでご案内申し上げます。尚、ご不明な点などございましたらお気軽にお申し付け下さいませ。当日のご参加を心よりお待ちしております。

敬具

1. 日 時：平成28年6月19日（日）9：30～16：30（受付開始：9：00から）
2. 場 所：千歳市立千歳公民館 2階大集会室（千歳スポーツセンターダイナックスアリーナ隣）
住所 千歳市真町176-3 電話 0123-23-2740 ※案内図は別紙を御覧ください。
3. 討議テーマ：『住みたいまち、住み続けたいまち、暮らしやすいまちを目指して』
（定住促進にかかる子育て支援など）
4. その他：昼食は弁当をご用意しております。お飲み物は各自ご持参下さい。お子様をお連れになる場合はお子様分の昼食は用意出来ませんので参加者で持参してください。

※本参加決定通知書及び領収書は住所、氏名をご記入し捺印の上、お手数ですが当日ご持参下さい。

※最終確認として、市民討議会開催までに参加承諾書にご記入頂いた電話番号に事前確認を入れさせていただきます。

※参加謝礼金は当日のプログラムに全て参加された方にお支払いさせていただきます。

体調不良などやむを得ない理由を除き、途中でお帰りになる方にはお支払い出来ませんのでご了承ください。

【お問い合わせ先】

千歳市民討議会実行委員会／一般社団法人千歳青年会議所
事務局 加藤 寛志 携帯：090-7644-0409
木村 利貴 携帯：080-6099-2786

領 収 書

千歳市民討議会実行委員会 （一般社団法人千歳青年会議所） 様

金額 ￥ 2,000 ー

但し 第4回千歳市民討議会の参加の謝礼金として

住所
名前

印

(5) 広報掲載記事

広報資料（報告記事） 千歳民報記事

The Chitose Mimpo

千歳民報

2016年(平成28年) 6月20日 月曜日

子育て支援課題続々

第4回千歳市民討議会 50人の意見集約、市に提言へ



市民の声をまちづくりに生かそうという「Voice of Chitose」第4回千歳市

市民の声をまちづくりに生かそうという「Voice of Chitose」第4回千歳市

↑グループごとに意見を発表

各グループがまとめた意見を見て投票する参加者

に配置されたコーディネーターの司会の下、意見を交わした。今年のテーマは「子育て支援について」。初めて市保健福祉部の職員が市で実施している子育て支援策の情報を提供した。事業の説明を受けて参加者の口から出た言葉の多くは「知らなかった」。多くの情報がないのは行き届いておらず、市と市民の温度差が浮き彫りになった。

討議では、空港などで働く人が多く、シフト制の人が多くいることから、「日曜にも利用できる保育施設が欲しい」「中学生まで医療費の無料化」安心して出産できるよう「産婦

人科を増やしてほしい」などが上がった。また、複数のグループから「市のホームページが使いにくい」「調べたいことがすぐ出てこない」と見直しを求める厳しい要望が出た。

最後に、各参加者は各グループが挙げた意見のうち共感できる項目にシールを貼って投票した。得票が多かったのは、居場所づくりとしての町内会館の開放、ホームページ

が見づらいことを受けた「高校や大学に授業の一環として制作を委託する」、「バス路線を見直し、アクセスの良い所に施設を集める」の3点だった。

実行委員会は「出された意見をまとめ、市に提言書を出していく」とし、最後にまず、きょう参加した50人から市をより良く変えていこう」と参加者に呼び掛け、閉幕した。

民約50人が、身近に感じている課題について考え、意見を出し合った。

参加したのは、住民基本台帳から無作為に抽出された18〜60歳の市民。5人ずつ10グループに分かれ、各グループ

民約50人が、身近に感じている課題について考え、意見を出し合った。

参加したのは、住民基本台帳から無作為に抽出された18〜60歳の市民。5人ずつ10グループに分かれ、各グループ

子育て支援 意見続々

千歳市民討議会に40人



グループごとに子育て支援について熱心に話し合う参加者たち

【千歳】まちづくりについて市民が話し合う「Voice of choice」が19日、千歳市民討議会（真町）で開かれ、40人が活発に意見を交わした。

まちづくりへの関心を高めようとする千歳青年会議所などで行われる実行委が毎年開いており、今年で4回目。無作為に抽出した2500人に参加依頼書を送り、40人が応じた。

今年のテーマは子育て支援。3～5人ずつの10グループに分かれて2時間半、話し合った。終了後にはグループごとに議論の結果を発表した。「町内会で高齢者が子供に習い事を教えたらどうか」「育児中の親が緊急時に頼れる『駆け込み寺』をつくっては」など市民が主体となった支援策が提案された。

2児の母親である公務員青木奈緒子さん(29)は「幅広い年代の人と意見を交換できて良かった。町内会にも積極的に参加しようと思った」と話した。(高木緑)

(6) 当日の様子

事業名	Voice of ちとせ 第4回千歳市民討議会 ～みんなで話そう！次世代を育み道～
開催日時	2016年6月19日(日)
開催場所	千歳公民館 大集会室
市民討議会参加者	41名(途中退席1名)
時間	
09:30	開会宣言
09:31	実行委員長挨拶
	
09:36	趣旨説明
	
09:40	市民討議会説明
	
10:00	情報提供

11:00



午前討議

13:40



午後討議

15:10



発表

15:50



投票

16:10

16:20



16:30

御礼の言葉

記念撮影



閉会宣言

(7) 千歳市民討議会実行委員会諸会議一覧

第1回実行委員会

2016年2月23日(火) 18:00~19:30 千歳商工センター

- ・自己紹介
- ・第4回市民討議会の方向性について
- ・市民討議会実行委員会の今後のスケジュールについて
- ・討議テーマの選定について

第2回実行委員会

2016年3月7日(月) 18:00~19:30 千歳商工センター

- ・住民基本台帳の謄写並びに若者の参画について
- ・市民討議会実行委員会の今後のスケジュールについて
- ・討議テーマの選定について

第3回実行委員会

2016年3月18日(金) 18:00~19:30 千歳商工センター

- ・ポスター等掲示物について
- ・市民討議会実行委員会の今後のスケジュールについて
- ・討議テーマの選定について

第4回実行委員会

2016年3月28日(月) 18:00~19:30 千歳商工センター

- ・ポスター等掲示物について
- ・市民討議会実行委員会の今後のスケジュールについて
- ・討議テーマの選定について

第5回実行委員会

2016年4月5日(火) 18:00~19:30 千歳商工センター

- ・住民基本台帳謄写方法について
- ・ポスター等掲示物について
- ・市民討議会実行委員会の今後の全体スケジュールについて確認
- ・討議テーマの選定

第6回実行委員会

2016年4月18日(月) 18:00~19:30 千歳商工センター

- ・住民基本台帳入力担当割り
- ・市民討議会担当割り振り
- ・討議テーマの選定

第7回実行委員会

2016年4月24日（火） 18:00～19:30 千歳商工センター

- ・進行状況の確認

第8回実行委員会

2016年5月10日（木） 18:00～19:30 千歳商工センター

- ・ポスター配布・広報活動について
- ・住民基本台帳謄写状況について確認

第9回実行委員会

2016年5月12日（金） 18:00～19:30 千歳商工センター

- ・広報活動について（Facebook、千歳青年会議所ホームページ掲載、ニュースリリース）
- ・市民討議会参加依頼書送付準備

第10回実行委員会

2016年5月27日（木） 18:00～19:30 千歳商工センター

- ・ポスター配布・広報活動状況について
- ・講師講演・講演内容についての確認
- ・市民討議会備品資料作成準備

第11回実行委員会

2016年6月2日（火） 18:30～19:30 千歳商工センター

- ・討議会ポスター配布・広報活動について
- ・実行委員会への講師講演実施日について

第12回実行委員会

2016年6月7日（土） 18:00～19:30 千歳商工センター

- ・千歳市役所保健福祉部部長 原文雄様による実行委員会メンバーへの講演
- ・講師との質疑応答

第13回実行委員会

2016年6月13日（火） 18:00～19:30 千歳商工センター

- ・市民討議会参加者電話確認
- ・市民討議会資料作成・備品準備

第14回実行委員会

2016年7月26日（火） 18:30～20:00 千歳商工センター

- ・第4回市民討議会結果について報告・意見交換
- ・実行委員会独立のための協議
- ・千歳青年会議所9月例会の手法について

第15回実行委員会

2016年8月5日（火） 18:00～19:30 千歳商工センター

- ・ 討議結果に対する行政への提言について協議
- ・ 千歳青年会議所9月例会について

第16回実行委員会

2016年8月16日（火） 18:00～19:30 千歳商工センター

- ・ 討議結果に対する行政への提言について協議
- ・ 千歳青年会議所9月例会について

第17回実行委員会

2016年8月23日（火） 18:30～19:30 千歳商工センター

- ・ 千歳青年会議所9月例会案内状送付について報告
- ・ 千歳青年会議所9月例会プレゼン内容について協議
- ・ 市民討議会実行委員会の今後の在り方について協議

第18回実行委員会

2016年8月30日（火） 18:30～19:30 千歳商工センター

- ・ 千歳青年会議所9月例会の第4回市民討議会プレゼンの内容について協議
- ・ 千歳青年会議所9月例会の市民討議会実行委員会プレゼン内容について協議

第19回実行委員会

2016年9月22日（木） 18:30～19:30 千歳商工センター

- ・ 千歳青年会議所9月例会報告及び提言書内容について協議
- ・ 実行委員会親睦会について

おわりに

委員長挨拶

本年も多くの皆様のご協力のもと、無事に第4回千歳市民討議会を開催することが出来ました。

今年度は市民討議会実行委員会を立ち上げから2年目となり、青年会議所だけではなく多くの実行委員会メンバーと共に市民討議会を開催するための準備を行ってまいりました。

今回の市民討議会の工夫として千歳市の現状に沿った形での開催が良いだろうと考えました。千歳市は北海道内でも平均年齢の若いまちとして知られていますので、参加者の平均年齢を下げるために参加対象年齢を18歳から60歳までとしました。その結果、今年度の参加者の平均年齢は44.2歳となりました。また多くの市民が市民討議会に対し興味を持ち、参加していただくために昨年まで2000通だった参加依頼書を2500通まで増やしました。結果としては市民討議会参加者の数は減ってしまいましたが、我々として参加を望んでいた18歳から60歳までの対象者の人数は増やすことが出来ました。

今年の討議テーマとして『子育て支援』をあげさせていただきました。千歳の未来を担う次世代の子供たちの事は我々青年世代だけではなく老若男女問わず全ての世代で考えていかなければならない問題だからです。しかし、千歳市は多くの子育ての施策を行っており、子供を育てていくのに適したまちでした。しかしながら、市民討議会の結果その素晴らしい多くの施策があまり市民に対し伝わっていないという現実がありました。

今後は行政からの施策の広報を市民に対し積極的に行い、また行政からだけではなく市民も積極的に行動し情報を受け取る為の努力をしなければなりません。お互いが共に千歳をより良いまちへと発展させるべく双方向の協力体制を構築していく素晴らしい未来を築き上げることを願います。

最後に、今年度の市民討議会開催にあたり多くのご協力をいただいた千歳市民討議会実行委員会のメンバーの皆様、千歳市職員の皆様、そして多くの関係者の皆様のおかげをもちまして無事開催できたことに改めて感謝申し上げます。

千歳市民討議会実行委員会 副実行委員長
一般社団法人千歳青年会議所 市民力推進委員会 委員長
加藤 寛志

2016年度

～Voice of ちとせ～「第4回千歳市民討議会」

実施報告書

平成28年11月発行

編集・発行	千歳市民討議会実行委員会
事務局	一般社団法人千歳青年会議所
〒066-0042	千歳市東雲町三丁目2番地の6 (千歳商工センター1F)
電話	0123-24-6868
FAX	0123-24-6868